

『 剣は言葉をこえる 』

兵庫県

清水台剣修会

小学6年 前 菌 夢 巴

私には夢がある。

それは、剣道を通して国際交流をし、世界中にたくさんの剣友をつくることだ。そして、世界選手権という大きな舞台で、活躍できる選手になりたいと思っている。

二年前の夏、家族でアメリカに行った。その準備をしていると、母に、

「竹刀や剣道具の準備もしなさい。」

と言われた。その時私は、

「どうして剣道の用意をしなくてはいけないんだろう。旅行のはずなのに。」

と思っていた。

アメリカの空港に着くと、見るものすべてが新鮮で、わくわくした気持ちになった。しかし、聞こえてくる英語にとっても不安になったことを覚えている。

宿へ移動し、荷物を置いて少し休んでから、食事を取り、剣道具を車に乗せ、トーランス剣道道場というところへ出稽古に行った。このトーランス剣道道場は、アメリカでも古く、歴史のある道場だ。指導をしてくださる先生方の中には、元アメリカ代表主将で、全米剣道選手権大会で優勝された先生もいらっしやった。アメリカの剣道人口は日本ほど多くはないが、トーランス剣道道場の方はとても熱心な方ばかりだった。

緊張と言葉のかべから、私は、ぎこちないあいさつをしてしまった。しばらくすると、稽古が始まった。足さばき、素振りにはじまり、技の稽古、子供たち同士での地稽古、先生との地稽古と続いた。稽古自体は日本とあまり変わらないが、指導はすべて英語だ。英語がわからない私は、とまどってしまった。しかし、先生方や地元の子供たちが身振り手振りで必死に伝えてくれ、できたときには笑顔でこたえてくれた。言葉は通じないが、心は通じ合えたとうれしい気持ちでいっぱいになった。言葉のかべは高いが、竹刀を交わすことでコミュニケーションが取れる、お互いに理解ができる、これこそ、まさに剣友だと感じた。

私がアメリカにいる間、全米少年剣道選手権大会が行われ、そのゲストとして、全日本選手権で優勝された竹ノ内先生がアメリカに来られていた。大会前日の会場で竹ノ内先生と話をする機会があった。竹ノ内先生は二年前に東京で行われた世界選手権でも活やくされ、私はテレビで応えんしていたので、直接話ができることにとても興ふんした。その時、竹ノ内先生から、

「努力を続け、あきらめなければ、必ず夢はかなうもの。これからも剣道をがんばってください。」

と言っただき、これからもより努力をしなければとあらためて思った。

世界の一線で活やくされているトーランスの先生や竹ノ内先生と交流したことで、私も将来、世界選手権に出場するような選手になりたいと強く思った。

アメリカでの経験を通して、日本で生まれた剣道が、外国でも盛んに行われているということを知った。国が違っても、剣道に対する思い、剣道を大好きだという気持ちはみんな同じであり、また、竹刀を交わせば、言葉は通じなくても、心は通じ合える、剣は言葉をこえるということを知った。そして、自分の剣道に対する思いや夢を再確認することができた。

私には夢がある。

夢は夢だけでは終わらせない。

夢を必ずかなえるために、これからも一日一日を大切に、努力を続けていく。

I have a dream.

I promise my dream come true.